

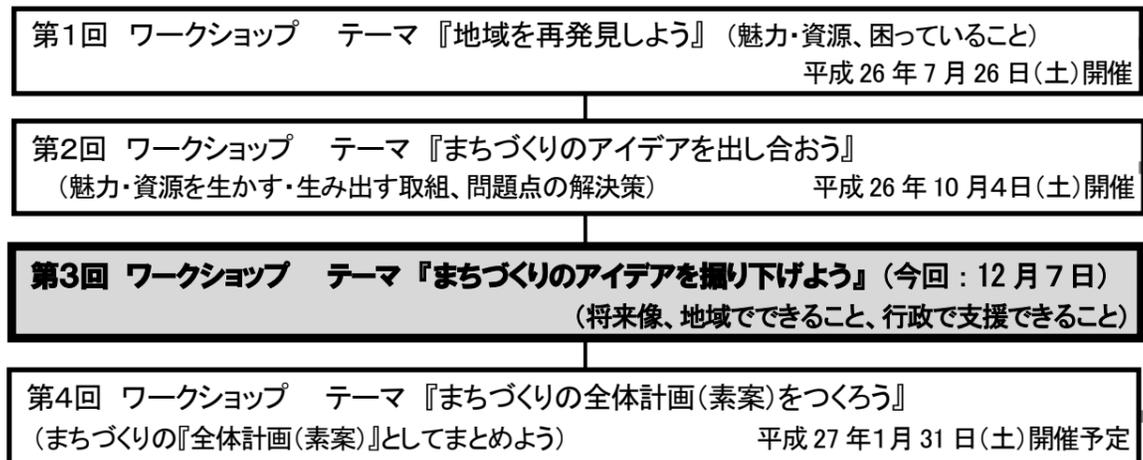
阿戸地区の『新たなまちづくりプラン』の作成（ワークショップ）の流れ（予定）

阿戸地区がより住みよく、いきいきとしたまちとして持続していけるよう、阿戸地区で活動する団体の皆さま（別掲）に参加していただき、地域住民自らが参加し実施できる、具体的で実行性の高い、阿戸地区の『新たなまちづくりプラン』の作成に向けた取組をスタートさせ、ワークショップを開催しています。

<阿戸地区ワークショップ参加団体>

阿戸町連合町内会	阿戸町女性会
阿戸地区青少年健全育成協議会	阿戸小学校PTA
阿戸学区体育協会	あーと村運営協議会
阿戸中学校PTA	阿戸用商工会
阿戸町農事研究会	NPOあ〜と倶楽部
めだかクラブ	阿戸町ふるさとおこし
阿戸幼稚園・保育園	社会福祉法人あと会
子ども会	留守家庭子ども会保護者会
阿戸・矢野地域包括支援センター	阿戸小学校
阿戸中学校生徒代表	

◆ 平成26年度 ワークショップ  
～ まちづくりの『全体計画（素案）』をつくります ～



地区住民説明会（平成26年度 ワークショップの報告）

◆ 平成27年度 ワークショップ  
～ 全体計画をもとに具体的に取組む『行動計画』をつくります ～

**具体的な行動**（可能な取組は平成27年度からスタートすることも）



**まちづくりに関する意見を募集しています。**

まちづくりについて、日頃お感じのこと（良いところ、困っていること等々）やアイデア（例えば、地域でこんなことをしたい等々）、この「まちづくりだより」を読んでのご意見、ご感想などをお聞かせください。ワークショップで活用させていただきます。

<ご意見・ご感想の提出方法>

- 意見箱での受付…阿戸公民館、阿戸出張所、阿戸福祉センターの3か所に意見箱を設置しています。
- ファックス・メールでの受付…ファックス、メールを、地域起こし推進課宛に直接お送りください。



※ お寄せいただいたご意見は、ワークショップやまちづくりだよりの中で公開させていただく場合があります。なお、ご意見等は無記名でかまいません。また、個人情報等の取り扱いには十分注意し、個人が特定できるような内容では公開しません。

**問い合わせ・連絡先**

安芸区役所 市民部 地域起こし推進課（担当：松原、来栖）  
電話：(082) 821-4905 FAX：(082) 822-8069 E-mail：ak-chiiki@city.hiroshima.lg.jp



**阿戸地区まちづくりだより**



～阿戸地区新たなまちづくりプランの作成に向けたワークショップについて～ vol. 3

平成26年12月 発行：安芸区地域起こし推進課

第3回ワークショップは『まちづくりのアイデアを掘り下げよう』をテーマに進めました。

ここでは、12月7日（日）に開催しました第3回ワークショップ\*のあらましを紹介いたします。

最初に、阿戸小学校の児童の皆さんが考えた「30年後の阿戸町・阿戸小学校」と、阿戸中学校の生徒の皆さんの「阿戸地区の活性化」についての作文の紹介を行いました。

大人では考えつかないアイデア、そして大人と共通した思いなど、これからのまちづくりの大切な内容が盛り込まれています。

続いて、阿戸地区の将来像・目標を検討するとともに、第2回ワークショップを受け、4つの取組について内容を掘り下げました。

→【2、3頁をご覧ください】

**【30年後の阿戸町・阿戸小学校】…阿戸小学校**

- お年寄りとの交流（バリアフリー、交流イベント）
- 町の食堂（給食も、一般の人も）、バイキング
- スクール（ソーラー）バス、循環バス
- ホテルのまち、芝生がたくさんあるまち
- 歴史資料館、美術館 など

**【阿戸地区の活性化】…阿戸中学校**

- 阿戸の魅力発信
- 3つの案：来たい、住みたいまちのプロデュース、観光施設、情報発信
- 阿戸のアニメ化
- 阿戸グローバル化宣言 など

**第3回ワークショップのプログラム等（要点）**

日時：12月7日（日） 14:00～16:10  
会場：阿戸公民館  
参加者：住民の皆さん16人、安芸区9人、進行役2人

- はじめに
  - 阿戸小・中学校の児童・生徒の作文等の紹介
  - 前回の振り返り、今日のプログラムの説明
- 阿戸地区の将来像を語り合しましょう（班ごと）
- 地域でできることなどを話し合しましょう（班ごと）
  - その1：重要度・優先度の高い取組（第2回の成果）→掘り下げる取組（メニュー）を抽出
  - ↓
  - その2：自分たち・地域でできること・できそうなことなどを、具体的に考えましょう。
  - その3：地域外の人・団体等と連携・協働すること、支援してほしいことを考えましょう。
- 全体会
  - 班ごとの発表
  - まとめ、次回（第4回）について
  - 事務連絡・終了



**<※ワークショップとは>**  
参加者が自由に意見を出し合い、互いの考えを尊重しながら、意見・アイデアをまとめ、計画や提案などをつくること、またはその集まりのことをいいます。

# 阿戸地区の将来像・目標

全体に関わる将来イメージから、取組の柱となる目標まで、多彩なフレーズやキーワードが出されました。今後、これらを整理したり、肉付けしたりしながら、みんなで共有できる将来像などをつくっていきたくて考えています。

## 将来像

(全体的なこと、横断的なことに関わる将来の姿、イメージ、キャッチフレーズ)

- 広島県No.1の住みよいミニタウンを目指す
- 山に囲まれ、米もうまいみんなにっこり阿戸のまち
- かがやけ! 阿戸の里～ねむっている資源がいきいきと輝くまちづくり～
- 緑と水(名水)と田園文化の里・あ～と
- 住んで実感 子どもいきいき 親はにっこり おいでよ阿戸へ
- 子どもたちを中心に住民の絆をつくっている阿戸のまち
- 人・自然・やさしさいっぱい阿戸町

## 目標

(取組の柱・方向づけ)

- 自然と田園を守り、活かす阿戸づくり
  - ・ホテルのまち ・自然を活かした観光 ・自然豊かな花のまち
  - ・森林が美しい ・人と自然、やさしいまち ・あまり都市化しない
  - ・自然を活かしたまちづくりと都市との交流 ・荒れつつある農地を守る など
- 地産地消と食の魅力いっぱい阿戸づくり
  - ・地産地消の町 ・シシ肉のまち など
- 子どもたちの笑顔がいっぱい阿戸づくり
  - ・子どもを見守りながら暮らせるまち ・子育て支援 ・教育
  - ・創造性豊かな、子どもたちの育つまち ・危険だと締め付けない公園
  - ・子育てするならやさしさいっぱい阿戸町 ・子育てするなら阿戸町で など
- 人が育つ、「あーと」とやさしさの阿戸づくり
  - ・ヒトが育つアト町 ・アートとものづくり、人育て(づくり) ・人にやさしい
  - ・つながり深い良いまち阿戸町 ・人がいきいき輝く山里づくり ・ふれあい など
- 安全・安心で暮らしやすい阿戸づくり
  - ・安全・安楽・安心なまち ・誰もが暮らしやすいまち ・若い人も住みやすい田舎
  - ・定住していけるまち(将来来人も) ・住民が投資してコンビニ等開店 など
- 情報を共有・発信し、連携して取り組む阿戸づくり
  - ・人が集う場と阿戸の情報発信
  - ・現在、各グループによって多くの事業・町起こしをしているもの一元化
- <その他>
  - ・9年前の子ども達による「30年後の阿戸町」が手本
  - ・観光客が来るだけではない所に

## 第1回ワークショップ

魅力・資源…“強み”  
困っていること…“弱み”

## 第2回ワークショップ

まちづくりのアイデア  
“強み”を活かす  
“弱み”を解決する  
たくさんの取組(アイデア)  
が出されました

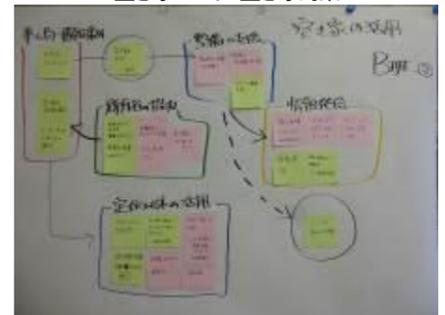
保育園跡地の活用、耕作放棄地対策



遊び場づくり



空き家バンク・空き家対策



# 幾つかの取組の掘り下げ

この作業は、具体化していくためのプロセスであり、今後、必要なこと、検討が望まれること、解決しなければならない課題などの確認でもあります。まずは、個々の取組又は関連する取組を合わせて、プロジェクトチームのような体制が必要と考えられます。また、「具体的に行動することが重要」との指摘もありました。

○:自分たち・地域でできること・できそうなこと □:地域外の人・団体等と連携・協働すること・支援してほしいこと

**保育園跡地(予定)の活用**

**チーム結成と運営**  
○「ATOプロジェクトチーム」をつくる(実行委員会等の立ち上げ)…企画・整備・運営  
○新しい人たちの協力、担い手の確保(輪を広げる)、危機感の共有と地域で議論する場 など

**地元意見の把握**  
○地域全体で跡地を何に活用するか議論 ○跡地の活用により(住民)の声を取り入れる

**情報提供・支援(行政等)**  
□活用上の制約、具体化の期間(要・スピード感)の情報提供 □実行委員会等の設置及び運営の支援 など

**活用の内容**  
○食、特産品づくりの場:まちの食堂、レストラン、お茶が飲める場、特産品の加工の場  
○運動場を芝生広場 ○ライブハウス、みんなが集まる場所 ○地元で働ける場所 など  
□整備・運営への支援  
代替案…□更地化(行政)→○利用の検討

**耕作放棄地対策**

**チーム結成と運営**  
○耕作放棄地活用(対策)チームづくり ○調整組織の結成(行政、地元) ○耕作放棄地マップづくり  
○地域としての方向性(花や農など) ○地権者との交渉 ○場所や技術の提供 ○地権者との折衝

**地域外からの確保**  
○地域外からの参加者・担い手の確保(情報発信・PR) □地域外からの協力・参加

**情報提供・支援(行政等)…上記**

**取組の内容**  
○花づくり ○市民農園・市民菜園 ○子どもたちが収穫できる物(植える、育てる)  
○農業・農地としての活用(ブルーベリー、トマトの生産・加工) ○農業したい人を活用 など  
□農業をしたい人による労力の提供 □鳥獣対策の支援←→○地域でまとまった鳥獣対策の取組

**遊び場づくり(広場、水辺など)**

**具体化に向けた構想づくり等**  
○構想づくり(どのような遊び場にしたいかの構想の提案)  
・学校グラウンドの校庭開放による利用 ・保育園跡地、既存園舎の活用 など

**遊び場の整備・確保**  
○住民参加(芝生張り・草取りへの参加・協力) □保育園跡地の整備(芝生化、JA側からの出入) など  
□水辺の整備:雁木の設置・安全な環境、川遊びの出来る公園、釣りの出来る場所 など  
○広場・水辺以外への拡大:休耕田を利用したドローン広場、簡単な遊具づくり、自由に遊べる自然の山 など  
□遊び場づくりへの支援:遊休農地の借上、広場づくり、フィールドアスレチックづくり、山遊びの場づくり など

**維持管理や見守り体制**  
○木、花などの管理、水辺は週末の見守り体制 など  
□管理の助言等:専門家による管理のアドバイス、助言

**活用促進・情報発信**  
○サークル活動、遊び場マップづくり など

**空き家バンク・空き家の活用**

**具体化に向けた体制づくり等**  
○事務局機能の立ち上げ ○情報集め:空き家の情報集め、空き家の発掘と持ち主の確認

**空き家の確保・管理・整備**  
○空き家の維持管理への協力:空き家バンク登録された物件の掃除等への協力  
○所有者の協力:田畑(休耕田)とセットで貸し出す(菜園の指導など)  
□空き家の整備支援:上下水道、住みやすく改築する支援 など

**入居に向けた活動**  
○情報発信:阿戸出身者への空き家バンク情報 ・情報発信(ネット) など  
□市のHPなどでのPR  
□空き家の斡旋 □子育て支援プロジェクト(助成金) など

第2回ワークショップで出された取組(アイデア)から、重要度・優先度を考慮して、4つの取組について、掘り下げました。

